地質ニュース

昭和54年10月　第302号　1979

解説	共水性ガスとその鉱床（その4）	福田　理	6
	高知県西部の〝三宝山層群〟の新観察	平朝彦 中世古幸次郎 甲藤次郎 田代正之 斎藤靖二	22
	サンゴ礁と石灰岩（4）	大山　桂	36
	海峡形成史(viii)—琉球列島を切る海峡—	大嶋和雄	48
海外事情	ケニアの地熱開発	馬場健三	54
	アラブ首長国連邦の水資源	小鯛桂一	62
地学と切手	ラザフォード生誕100年記念切手	P. Q.	61
	大正　TAISHO	小坂利幸ほか7名	66
	岩の力学連合会発足	小出　仁	21
口絵	チベットの地熱資源	松野久也 角清愛	

編集　地質調査所

表紙の写真

発行　株式会社　実業公報社

砂漠の足踏みポンプ

マリという国は　新聞・テレビを通じて　広く知られるようになった——日本がウランの探査を行っている西アフリカの国として．　探査地域は東部で　年降水量が300 mm以下という寡雨地域．　しかし　首都がある西部は1,000 mmを超える降雨に恵まれた地域　放牧に加えて農業を営む．　従って　東部の遊牧民とは違って　定着民が多い．　マリ国の東部と西部は　全く対照的である．
写真は　首都バマコから南へ約 170km のところにある村の共同井戸．深さ約44m　口径150mm　水位7.8m．　井戸の周囲に柵がある．　汲み上げポンプは　我々が名付けた「足踏みポンプ」というフランス製．機構は自転車の空気入れの原理とよく似ている．　この井戸はスイスの援助で掘った．　水温は30°C未満で生温いが良質．　案内のスイス人は水井戸に近づくと何のためらいもなく手に汲んで飲み　大きく頷いた．その時　技術援助はかくあるべし——と思った．　住民に最も必要な水を通してあたたかい相互の信頼関係をそこに見たからである．
なお　このポンプの値段は　日本円で1台15万円．

（写真　文とも　村下敏夫）